

白黒写真に色が着く！



あなたの思い出、修復します

monokara.

第1回



第2回

2020

11/5 (木) » 11/6 (金)

10:00~18:00

はかた伝統工芸館

〒812-0026 福岡市博多区上川端町6-1

2020

11/21 (土) » 11/23 (月)

10:00~16:00

博多おりおり堂

〒812-0037 福岡市博多区御供所町12-2

あなたの白黒写真も着彩致します！詳しくは裏面を。

〔主催〕九州産業大学芸術学部ソーシャルデザイン学科

〔後援〕はかた伝統工芸館 / 御供所まちづくり協議会

九州産業大学
KYUSHU SANGYO UNIVERSITY

SOCIAL DESIGN
KSU | Art and Design

はかた伝統工芸館
HAKATA TRADITIONAL CRAFT AND DESIGN MUSEUM

御供所まちづくり協議会

白黒写真を修復・カラー化する取り組み

近年では、AI技術による白黒写真の自動着彩が話題になっていますが、その多くは、歴史的に語られる出来事を記録した写真がカラー化されています。「もし、大切な家族を写した白黒写真に色がついたら?」。ふとした思いつきからこのプロジェクトを立ち上げました。そこで本企画では、日常の何気ない思い出が記録された白黒写真を修復・カラー化し、展示することで失われた時代背景を思い起こしたり、懐かしみながら楽しんでいただけることを目標としました。写真の展示の他にも白黒写真がどのように修復・着彩されるのかを知ることができる作業過程の解説ブースも設置するため、デジタル技術に興味がある方もぜひご来館ください。

手動による着彩の魅力

本企画で展示されている写真は、すべてをAI技術で処理された物ではなく、ヒトの目の感覚を通した上で、修復・着彩した物です。現代の自動AI技術で着彩した場合正確な色の再現が難しく、記憶とは異なる配色になってしまうことがしばしばあります。しかし、手動で着彩することで、当時の時代背景と聴き取り調査のデータを参考にすることができ、記憶に近い色彩を再現することができます。

修復・カラー化を希望される方へ

本イベントでは、お持ちの白黒写真を無料で修復・カラー化するワークショップも実施いたします。完成後は、L版サイズに印刷してお渡しいたします。希望される方は、受付でその旨をお申し出ください。受付時、名簿に必要事項の記載をお願いします。作業の都合上、当日にお渡しできなかった場合は、後日、博多おりおり堂でお渡しいたします。



伊藤 晃生 ITO Kosei

井上友子 研究室

1998年福岡市西区生まれ。九州産業大学芸術学部ソーシャルデザイン学科情報デザイン専攻4年次生。デザインを通し社会に貢献することを目指し日夜奮闘中。2021年4月より九州産業大学大学院芸術研究科博士前期過程に進学予定。



交通アクセス

地下鉄 [祇園]・[中洲川端] 駅から徒歩5分

バス [川端町・博多座前] 駅から徒歩5分
[キャナルシティ博多前] 駅から徒歩3分

はかた伝統工芸館

〒812-0026

福岡市博多区上川端町6-1

TEL 092-409-5450

交通アクセス

地下鉄 [祇園] 駅から徒歩4分
[呉服町] 駅から徒歩7分

バス [祇園町] 駅から徒歩3分
[緑橋] 駅から徒歩4分

博多おりおり堂

〒812-0037

福岡市博多区御供所町12-2

TEL 080-8585-8658

無料

上限

1家族 2枚まで

※必要事項とは、氏名・電話番号・住所のことです。

※当日、お渡しできなかった場合、第1回はかた伝統工芸館で受付した方は、第2回博多おりおり堂開催期間中にお渡しいたします。第2回博多おりおり堂で受付した方は、同会場で11月27日(金)午前10時~午後14時にお渡しいたします。